

# 縄文女子 の 妄想トーク

今回の妄想トークのメンバー



20年前から北海道の縄文館に力を注いでいる、縄文沼の女神様



イベント情報を発信中！縄文沼の深みにつきかりはじめた初心者

今回はオマケ員として、なにかもい発言してます！



「北の縄文世界と国宝」展に向けて日々縄文文化を吸収中！ワインをよく飲むイベントラー



「縄文人の生き方」を370年代だね」と思っているのが実践中の編集者



オマケのドニワ女子

## 縄文沼へようこそ

最近、縄文沼にハマる人がジワジワ増えてきているみたいで、縄文沼の女神としては嬉しい限りだわ！  
今回のメンバーは、お仕事で縄文に触れてすっかりハマっちゃったそうね。みんな、縄文のどういふところにグッときた？

私はやっぱり土偶から。特に「縄文のビーナス」（長野県茅野市）がお気に入り。頭にターバンを巻いているようにも見えるし、ボディは雲母でキラキラしてるし、とにかく女子力が高くて大好き！



キラキラいいよねー！半歩踏み出しているようなボーイングも素敵よ。

私は、縄文好きの人からおすすめポイントや楽しみ方を教えてもらって、がぜん興味が出てきたよ。  
「縄文のビーナス」は写真でしか見たことないから本物を見るのが楽しみ！やっぱり本物とレプリカは違うってわかる？

私も最近ハマったのだけど、絶対に本物を見てほしい！レプリカも精巧でもろろんずごいんだけど、本物はすごいオーラをまとっているわ。レプリカと見比べる機会があるのもおもしろいね。

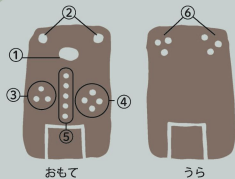
縄文がテーマの特別展は本物の遺物をまともに見られるから嬉しいよねー！期間中に本物とレプリカが入れ替わるから、時期をずらして行って見比べたい！

私は「どぼんくん」（秋田県大瀧町石出土「土版」）が好き！見て、これほんとにかわいいの。



ほんとだ！かわいい！！

ねえ知ってる？「どぼんくん」の口が1、目が2、体の正面に縦に3、右に4、左に5、後ろに6。丸い文様で1〜6までの数を表してるって言われての。



え？ほんとだ！数の概念があったの？すごい！かわいだけじゃじゃないのね。

どぼんくんの形のクッキーがあるんだよね。最近は縄文スイーツも増えてきていて、クッキーや羊羹、遺跡の地層をイメージしたケーキやパフェもあるのよ！お土産がきっかけでハマる人もいそうだね。

お菓子はお土産として配りやすいから良いよね。もっと増えるといいなあ。

私はかわいいグッズに注目してる！

縄文グッズいろいろ持ってきたよー。ポスターカードやブックカバー、バグとかアクセサリーとか種類も多いね。作品づくりから縄文にハマる作家さんと、その作品からハマるお客さん。縄文ラブの連鎖ね。最近は何均でもクッキー型とか靴下とか、縄文グッズがあるらしいわよ！

わー！これ、欲しい。あ、こっちもいい！

今まさにズブズブとハマっていき様子リアルタイムで見てる感じがするわ（笑）

縄文系の体験はどう？やったことある？

私は土器作りが気になる！野焼きも楽しそうだね。

自分で作ってみると、縄文人の技術力の高さがよくわかるよ。自分の不器用さにしょんぼりしちゃう（笑）

中が空洞になっている土偶なんて、作るのも大変だけど、割らずに焼くのも大変だね。縄文人ってすごいなー！

私は縄文の世界感を映画で観てみたい。物語や映像になるとすごくワクワクすると思うの。

アニメとかマンガは時々あるけど、実写映画は迫力ありそう！それは観てみたい！

縄文好きを公言している有名なファンだから、縄文好きになった人もいいよね。

好きな人が興味をもっているのって、気になっちゃうもんねえ。それで「好き」がひろがっていくのはなんか良いね。

身近なところで、おじいちゃんが土器集めてたとか、近所で土器や石器のカケラを捨てて遊んでいたという人もいよね。畑から出てくると実は邪魔なんだって（笑）

私の友達、落ち込んだときに縄文人の精神性に触れて、元気を取り戻したって言ってたな。

今の時代って、みんな余裕がなくてちょっとギスギスしてる感じよね。だからこそ、縄文人の暮らしやココロに触れる、というのがわかる気がする。

いのちを大切に、感謝する…。いちばん大事なことを思い出させてくれるよね。

縄文の一番の魅力は、まだわかっていないことがたくさんあるところだと思うの。誰でも妄想し放題！

一方で、研究者の努力や最新技術のおかげで、少しずつ興味が明らかになってきているのもワクワクするよね！遺跡や施設に行ったら、学芸員さんやガイドさんに聞いてみると、優しくいろいろ教えてくれるよ。

どぼんくんの数の秘密とか、教えてもらったことを今度はだれかに伝えたくなっちゃうよね。いろんな話題があるのもおもしろい！

楽しみ方をシェアしあえるのもいいよね。

一人でも楽しいし、仲間ができるともっと楽しい！

縄文沼への入り口は本当にたくさんあるのね。それぞれの楽しみ方を知ると、もっともっと深い沼にハマっていく…。みんなも抜け出せないわね（笑）

（次回につづく）



※「縄文女子の妄想トーク」は、縄文をよく愛する縄文女子たちの個人的主観に基づき妄想トークがメインになっています。学術的に正しいかどうかは置いておいて、素人目線の「こうだったのかな」「こうだったらいいな」という妄想ワールドを、どう生かすか自分で楽しんでもらいたくは思っています。